



## 「公共図書館 Web サービス勉強会」のごあんない

笹沼 崇<qzw05476@nifty.com>

「公共図書館 Web サービス勉強会」という、現職図書館員なら誰でも welcome なコミュニティの管理人を務めています、ゆうき図書館の笹沼です。

この会は、茨城県結城市立ゆうき図書館が事務局を務める、Google グループを利用した勉強会です。そもそも、Web サービスをどのように公共図書館サービスに導入すれば効果的かについての意見交換を中心とした、ゆうき図書館内でのプレストがはじまりでした。

一昨年夏に、活動の場をオフラインから Google グループに移したのを機に、自館スタッフに限定するのではなく、他館の方々と一緒に前進した方が良くと考え、会の名前の自館名を「公共図書館」と改めました。現在は宮城・新潟・栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・愛知・京都・大阪・岡山・山口・宮崎などの各地から、約 40 館 60 名の方が参加されています。

この会に他館の方もお誘いしようとした際、最初に考えたのは、先端の知識を習得する勉強会ではなく、公共図書館のサービスに実際に「効く」場にしたいということでした。

では実際に「効く」にはどうすれば良いのか？

それには、多くの公共図書館員が協力し、各館のプレイクスルーのためにみんなで知恵を出しあい、一緒に進むきっかけをつくるのが大事ではないかと考えました。

最近、特に、図書館界の内輪の勉強会だけでなく、アウェーに出てどんどん新しいことを吸収しているアンテナの高い図書館員が増えつつあります。

それに対し、そんな先進的な図書館員ばかりで公共図書館の現場は動いていないわけではないという現実もあります。スタッフの中核は、諸々の制約で 1 日 4~6 時間しか働けない非正規職員が担っているという館も、相当多いことでしょう。

また仮に正職員であっても、権限がない・組織の壁に阻まれ動けない・知識やスキルが及ばずセミナーに行っても訳がわからないなど、人によってアクションを起こせない理由は様々だと思います。

そこで、たとえば Future Librarian 全国図書館大会 U40 プレミアセッションや『ACADEMIC RESOURCE GUIDE』（以下、「ARG」）周辺にいらっしゃる先進的な図書館員の方々の知識・熱意と、実際に現場でサービスに従事している方々とを結びつけ、各館のアウトプットを少しでも後押しするような、図書館員同士の相談の場を創り出そうと考えたわけです。

この会のお約束ごととして「所属と実名を明記」「ここで得た他館の情報は無断で口外しない」といった最低限のルールはあります。その上で、現実を踏まえなければ実際に前に踏み出すことはできませんから、普通はタブーと思われる、たとえば所属組織の問題点(壁)の話なんかもあって構いません。そういった インサイダーな話もできる空気を維持するため、あえてメンバーを現段階では現職図書館員に限定しています。

こうした同業者だけのコミュニティでは、その場で普遍的・客観的と思われたことが、世間一般の価値観と乖離してしまうことがよくあります。この会も、具体的に踏み出すためのきっかけと捉えなければ、同じことを繰り返す可能性は否定できません。そんな蝸壺状態に陥らないためには、各自がそれぞれの職場で行動を起こし、小さくても構わないから何か結果を出して、それに対する周囲からの評価を次の行動に反映するサイクルを確立すること、そしてそれを相互にフィードバックしあう場に発展させていくことが重要ではないかと考えています。

推敲なしで話すような感覚で投稿しても、ここなら平気という感覚のメンバーも多い、かなりインフォーマルな場です。素朴な疑問でも何でも、あまり考えずに投げ込める点が便利だという声もよく出ています。オンラインでのディスカッションのみの活動なので、人見知りの方も心配無用。公共図書館員、または公共図書館の Web サービスに関心をお持ちの異館種の方で、当勉強会に興味がある、あるいは協力して下さるとい方がいらっしゃれば、ぜひご一報ください。

職場の方々にもお声掛けいただければ幸いです。よろしくお願いたします。

### ●公共図書館 Web サービス勉強会

<<http://groups.google.co.jp/group/lib-web>>

